

湖西市監査委員公告

地方自治法第199条第9項の規定により監査の結果に関する報告を次のとおり決定したので、同項の規定により公表します。

令和7年2月27日

湖西市監査委員 土屋 隆裕
湖西市監査委員 楠 浩 幸

監査の結果に関する報告の提出について

監査の結果に関する報告を次のとおり提出します。

令和6年度財務監査（後期監査）の結果に関する報告

第1 準拠した基準

この監査は、湖西市監査基準に準拠して実施しました。

第2 監査の種類

この監査は、湖西市監査基準第4条第4項の定期監査として行った同条第1項第3号の財務監査です。

第3 監査の対象

この監査は、別表1に掲げる部課等の令和6年度の財務に関する事務で、次に掲げる会計の区分に応じ、それぞれ定めるものを監査の対象としました。

(1) 公営企業会計 経営に係る事業の管理に関する事務のうち次に掲げるもの

- ア 労務管理の事務
- イ 調定、徴収、現金取扱い又は滞納整理の事務
- ウ 切手等の保管管理の事務
- エ 固定資産又は貯蔵品の管理事務

(2) その他の会計

- ア 調定、徴収、現金取扱い又は滞納整理の事務
- イ 切手等の保管管理の事務
- ウ 備品その他物品（消耗品及び医薬品を含みます。）の管理事務

第4 監査の着眼点

監査の主な着眼点は次に掲げるものとしました。

- (1) 法令に適合しているか。
- (2) 正確か。
- (3) 最少の経費で最大の効果を挙げるようにしているか。
- (4) 組織及び運営の合理化に努めているか。
- (5) 内部統制は有効に働いているか。（重大なミスが見過ごされていないか。）

第5 監査の主な実施内容

1 予備監査

事務局職員が、提出資料を通覧して異常事項や例外事項がないかを確認するとともに、地方公営企業の業務の状況を説明する書類の正確性を計算により確認しました。

2 監査委員監査

調定、徴収、現金取扱い及び滞納整理の事務、切手等の保管管理の事務並びに備品その他の物品の管理事務について実地で検証し確認しました。これらにより異常の有無を確認できなかった事項については、関係職員に質問し、回答又は説明を求めました。

なお、公営企業の経営状況については、年度別に対照させた数値を観察しその異同を通じて問題点の有無を確認しました。

第6 監査の実施場所及び日程

監査は、別表2に掲げる場所及び日程により実施しました。

第7 監査の結果及び意見

1 監査の結果

第1から第6までの記載事項のとおり監査した限りにおいて、重要な点においては、法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めていることが認められました。

なお、第5において検証した公営企業の経営状況に係る数値は、別記のとおりです。

2 意見

地方自治法第199条第10項の規定により本報告に添えて提出する意見は、特にありません。

別表 1（第 3 関係）

○監査の対象部課等

企 画 部	企画政策課、D X 推進課、資産経営課
環 境 部	下水道課、水道課
健 康 福 祉 部	高齢者福祉課
市 民 安 全 部	保険年金課、新居支所
産 業 部	文化観光課
都 市 整 備 部	都市計画課、建築住宅課
会計課	
教育委員会事務局	教育総務課、幼児教育課、スポーツ・生涯学習課
消 防 本 部	消防総務課、警防課
市立湖西病院	

別表 2（第 6 関係）

○監査の実施場所及び日程

内容		実施場所	実施年月日
実施通知			令和 6 年12月 2 日(月)
資料提出期日			令和 6 年12月26日(木)
予備監査		監査委員事務局	令和 6 年12月27日(金)～ 令和 7 年 1 月29日(水)
監査委員監査	実査 及び 質問	湖西病院、水道課	令和 7 年 1 月30日(木)
		下水道課	1 月31日(金)
		文化観光課、新居支所、 保険年金課、D X 推進 課、資産経営課	2 月 4 日(火)
		スポーツ・生涯学習課、 高齢者福祉課、幼児教育 課、企画政策課	2 月 5 日(水)
		建築住宅課、都市計画 課、会計課、警防課、消 防総務課、教育総務課	2 月12日(水)
講評及び弁明、意見 等の聴取		監査委員事務局	実施していません
監査の結果に関する 報告決定		監査委員事務局	令和 7 年 2 月20日(木)

別記（第 7 関係）

○公営企業の経営状況

【注記】

- (1) 数値は、令和 6 年度以前 5 年度分について表示しました。
- (2) 金額及び比率は表示数値のすぐ下の位の数値を四捨五入し、比率、金額の差及び比率の差（ポイントで表示しました。）は表示数値により計算しました。
- (3) 流動比率は、1 年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債を比較するもので、短期（1 年）の資金繰りを示す指標として、比率が高いほど資金繰りが順調であることを示します。理想比率は200%以上です。
- (4) 現金預金比率は、流動負債に対する現金預金の割合を示すもので、流動比率と同じく、短期の資金繰りを示す指標です。20%以上が理想値とされています。
- (5) 数値がないものは「-」で表示しました。

1 公共下水道事業（環境部下水道課）

(1) 4月から9月までの職員の時間外勤務の状況（単位：人）

区 分	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
1 か月間の時間外勤務が100時間以上の職員の延べ人数	-	-	-	-	-
1 か月間の時間外勤務が80時間を超えた職員の延べ人数	-	-	-	-	-
1 か月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の延べ人数	6	1	-	-	-
2 か月間、3 か月間、4 か月間、5 か月間又は6 か月間の時間外勤務の1 か月当たりの平均時間が80時間を超えた職員の延べ人数	-	-	-	-	-

1 か月間の時間外勤務が45時間を超えた職員はいませんでした。

(2) 9月末日現在の収益的収支（税抜き）（単位：千円）

区 分	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
下水道事業収益 (a)	693,388	562,492	667,665	665,256	675,093
下水道事業費用 (b)	227,289	219,130	209,982	213,925	200,889
純損益 (a-b)	466,099	343,362	457,683	451,331	474,204

下水道事業収益（税抜き）は675,093千円で、前年同期と比べて9,837千円の増収です。これは主に、営業外収益の他会計補助金が減少したが、他会計負担金が皆増したことによるものです。

下水道事業費用（税抜き）は200,889千円で、前年同期と比べて13,036千円減少しました。これは主に、修繕費の減少により営業費用の処理場及びポンプ場費が減少したことによるものです。

損益では474,204千円の純利益を上げ、前年同期と比べて22,873千円の増益です。これは、上記の他会計負担金、処理場及びポンプ場費に係るもの以外では、主に営業収益の下水道使用料の増加によるものです。

(3) 9月末日現在の資本的収支（税抜き）（単位：千円）

区 分	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
資本的収入 (a)	151, 971	195, 753	95, 815	135, 143	166, 575
資本的支出 (b)	399, 944	562, 929	431, 495	432, 721	518, 232
差引不足額 (a-b)	△247, 973	△367, 176	△335, 680	△297, 578	△351, 657

資本的収入（税抜き）は166,575千円で、前年同期と比べて31,432千円増加しました。これは主に、国庫補助金が増加したことによるものです。

資本的支出（税抜き）は518,232千円で、前年同期と比べて85,511千円増加しました。これは主に、管路建設改良費の工事請負費が増加したことによるものです。

(4) 9月末日現在の流動比率及び現金預金比率

区 分	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
流動資産（千円：a）	392, 460	298, 173	369, 911	491, 348	393, 428
現金預金（千円：b）	302, 471	149, 766	219, 706	322, 291	277, 713
流動負債（千円：c）	345, 051	363, 829	384, 456	472, 108	412, 275
流動比率 (%：a/c×100)	113. 7	82. 0	96. 2	104. 1	95. 4
現金預金比率 (%：b/c×100)	87. 7	41. 2	57. 1	68. 3	67. 4

流動比率は95.4%で、前年同期より8.7ポイント下降しました。現金預金比率は前年同期より0.9ポイント下降して67.4%です。

2 水道事業（環境部水道課）

(1) 4月から9月までの職員の時間外勤務の状況（単位：人）

区 分	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
1 か月間の時間外勤務が100時間以上の職員の延べ人数	-	-	-	-	-
1 か月間の時間外勤務が80時間を超えた職員の延べ人数	-	-	-	-	-
1 か月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の延べ人数	4	9	5	9	3
2 か月間、3 か月間、4 か月間、5 か月間又は6 か月間の時間外勤務の1 か月当たりの平均時間が80時間を超えた職員の延べ人数	-	-	-	-	-

1 か月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の延べ人数は3人で、前年より6人減少しました。

なお、1 か月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の実人数は2人でした。

(2) 9月末日現在の収益的収支（税抜き）（単位：千円）

区 分	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
水道事業収益 (a)	452, 220	518, 147	514, 978	507, 980	524, 607
長期前受金戻入を含む	497, 332	563, 072	559, 324	552, 039	
水道事業費用 (b)	267, 553	276, 500	285, 855	283, 509	261, 919
減価償却費等を含む	448, 241	465, 785	477, 062	471, 793	
純損益 (a-b)	184, 667	241, 646	229, 124	224, 471	262, 688
	49, 091	97, 287	82, 262	80, 246	

※ 水道事業収益(a)は長期前受金戻入、水道事業費用(b)は貸倒引当金繰入額、有形固定資産減価償却費及び固定資産除却費を除いています。

水道事業収益（税抜き）は524,607千円で、前年同期と比べ16,627千円の増収です。これは主に、営業収益の給水収益及び共同住宅の建設が多かったため営業外収益の加入金が増加したことによるものです。

水道事業費用（税抜き）は261,919千円で、前年同期と比べ21,590千円減少しました。これは主に、遠州広域水道料金の納期限が翌月になり受水費が減少したことによるものです。

損益では262,688千円の純利益を上げました。前年同期と比べると38,217千円の増益になりました。

(3) 9月末日現在の資本的収支（税抜き）

（単位：千円）

区 分	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
資本的収入 (a)	-	-	-	5,357	51,595
資本的支出 (b)	74,496	89,715	78,319	182,040	156,714
差引不足額 (a-b)	△74,496	△89,715	△78,319	△176,683	△105,119

資本的収入（税抜き）は、51,595千円で、前年同期に比べて46,238千円の増加です。これは主に、投資有価証券が皆増したことによるものです。

資本的支出（税抜き）は156,714千円で、前年同期に比べて25,326千円の減少です。これは主に、前年度からの繰越工事による配水管拡張改良費の工事請負費が増加したが水源改良費は皆減したことによるものです。

(4) 9月末日現在の流動比率及び現金預金比率

区 分	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
流動資産 (千円:a)	1,678,812	1,790,086	1,851,224	1,711,167	1,841,599
現金預金(千円:b)	1,708,959	1,864,262	1,668,728	1,513,887	1,591,015
流動負債 (千円:c)	170,919	116,630	148,997	143,066	144,868
流動比率 (%:a/c×100)	1,047.3	1,687.4	1,242.5	1,196.1	1,271.2
現金預金比率 (%:b/c×100)	999.9	1,598.4	1,120.0	1,058.2	1,098.3

流動比率は1,271.2%、現金預金比率は1,098.3%で、短期の資金繰りに不安はありません。

3 病院事業（市立湖西病院）

(1) 4月から9月までの職員の時間外勤務の状況（単位：人）

区 分	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
1 か月間の時間外勤務が100時間以上の職員の延べ人数	-	1	-	-	-
1 か月間の時間外勤務が80時間を超えた職員の延べ人数	-	2	2	-	1
1 か月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の延べ人数	10	16	26	8	4
2 か月間、3 か月間、4 か月間、5 か月間又は6 か月間の時間外勤務の1 か月当たりの平均時間が80時間を超えた職員の延べ人数	-	-	-	-	-

1 か月間の時間外勤務が100時間以上の職員はいませんでした。80時間を超えた職員は1名で前年度より延べ1名増加、45時間を超えた職員の延べ人数は4人で、前年度より4人減少しました。1 か月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の実人数は3人で、時間外勤務が45時間を超えた月数は、1人が2か月、2人が1か月で、2か月連続していた職員は1人でした。

(2) 9月末日現在の収益的収支（税抜き）（単位：千円）

区 分	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
病院事業収益 (a)	1,681,564	1,569,199	1,648,441	1,670,885	1,599,929
病院事業費用 (b)	1,424,798	1,353,957	1,343,481	1,380,856	1,450,398
純損益 (a-b)	256,766	215,242	304,960	290,029	149,531

病院事業収益（税抜き）は1,599,929千円で、前年同期と比べ70,956千円減収しました。これは主に、地域包括ケア病棟の運営開始により入院収益が増加したが、外来収益が減少したことによるものです。

病院事業費用（税抜き）は1,450,398千円で、前年同期と比べ69,542千円増加しました。これは主に、常勤医師の増加による給与費及び経費の修繕費が増加したことによるものです。

損益では149,531千円の純利益を上げました。前年同期と比べると140,498千円の減損になりました。

(3) 9月末日現在の資本的収支（税抜き）

（単位：千円）

区 分	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
資本的収入 (a)	29,430	29,264	34,768	32,307	42,449
資本的支出 (b)	83,855	87,797	72,925	97,939	108,097
差引不足額 (a-b)	△54,425	△58,533	△38,157	△65,632	△65,648

資本的収入（税抜き）は42,449千円で、前年同期と比べて10,142千円増収しました。これは、他会計負担金が増加したことによるものです。

資本的支出（税抜き）は108,097千円で、前年同期と比べて10,158千円増加しました。これは主に、建設改良費の固定資産購入費が増加したことによるものです。

(4) 9月末日現在の流動比率及び現金預金比率

区 分	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
流動資産 (千円:a)	881,876	884,923	1,290,336	1,575,727	1,527,184
現金預金(千円:b)	516,478	561,021	865,610	1,202,870	1,158,625
流動負債 (千円:c)	182,551	209,978	202,939	262,033	249,268
流動比率 (%:a/c×100)	483.1	421.4	635.8	601.3	612.7
現金預金比率 (%:b/c×100)	282.9	267.2	426.5	459.1	464.8

流動比率は612.7%で、前年同期より11.4ポイント増加しました。現金預金比率は前年同期より5.7ポイント増加し464.8%です。両比率とも、理想値の条件を満たし、総じて短期の資金繰りは順調に見えます。